

兵庫県のハムシ研究史 (2)

(兵庫県甲虫相資料・311)

高橋 寿郎

1948. 高橋寿郎. キベリハムシの産地. 採集と飼育 10(6):181.

神戸背山の産地を記録.

1948. 釜江正己. 播州地帯に於ける大豆の害虫に就いて. 兵庫生物 1(2):24-26.

播州地帯での大豆の害虫26種(うち甲虫8種)の被害状況の概説であり, 具体的な説明はない. ハムシ科ではフタスジヒメハムシ, ヒメキバネサルハムシ, ウリハムシモドキの3種についての加害状況が示されている.

1949. 山本義丸. 篠ヶ峰の昆虫. 氷上郡の自然研究 No. 6.

本号において氷上郡下に初めてキベリハムシがいることが報告された. 篠ヶ峰(1949年8月). (氷上郡の自然研究とは松山確郎氏編集発行のものである-Natura, No. 15, p. 94, 1958).

1950. 和田義人. *Lema*属(金花虫科)雑記. TRITOMA(神戸昆虫同好会誌) (1):24-25.

以下の神戸付近の記録がある.

p. 24-25, 1. *Lema diversa* Baly アカクビボソハムシ
神戸付近に普通. 原種はvar. *lewisi*ほど多くない.

var. *doi* Kuwayama 六甲山.

var. *doi* f. *morii* Yuasa 神戸.

p. 25, 2. *L. delicatula* Baly キオビクビボソハムシ 神戸付近.

1950. 清水良介. 金花虫雑記 (I) カメノコハムシ亜科. TRITOMA (1):26-27.

取り扱う阪神地方とは神戸市付近も意味するとあるが, 個々の種について具体的に神戸の産地を書いたものはない.

1950. 柴内俊次・中畔史雄. 神戸虫便り. 札幌昆虫同好会会報 2(1):3-15.

神戸付近における蝶・甲虫の注目種についての解説である. かなり珍しいものが含まれている. ハムシについては, 次の3種が解説されている.

36. キベリハムシ *Oides bowringi* Baly 神戸市烏原, 六甲山, 摩耶山, 本年(1950) 六甲山麓一王山で1頭得られた.

37. キイロネクイハムシ *Haemonia japona* Jacoby = *Macroplea*. 1950年4月, 和田義人博士により宝塚の御殿山の池に産することが発見され, 中條道夫博士の同定を得た. その後, 同地では多数採集された.

38. キボシサルハムシ *Cryptocephalus perelegans* Baly
キボシツツハムシ. 六甲山に多く, 烏原にも多い(1994).

1950. 樋口繁一・橋本一廣・山田重次. 有馬郡生物誌(鞘翅目・pp. 117-124) 兵庫県立有馬高等学校普通科生物教室刊.

詳しいデータがなく, 単なる目録である. 注目種も出ているが, 同定に問題がありそうである. ハムシ科は8種が記録されており, 普通種だけである.

1951. Chûjô, M. Chrysomelid-Beetles of Shikoku, Japan (II) (Coleoptera). Trans. Shikoku Ent. Soc. 2(3):31-43.

本論文中, 新種記載された *Gynandrophalma nipponensis* のcotypeに1♂, Mt. Maya-san (altitude about 600m), Hyogo-ken, Honshu, Japan 19.V.1949, S. Iwao leg. が含まれている. 現在は, *Smaragina*属キイロナガツツハムシになる.

1951. 西村公夫. 昆虫2題. 新昆虫 4(10):36.

キベリハムシの神崎郡小段ヶ峰高原での記録.

1952. 山本義丸. 郷土・氷上郡の昆虫相について. Natura (7):8-13.

氷上郡から記録されているハムシは116種と概数が示されており, 具体的にはヨツホシサルハムシ, キベリハムシなどの名前も出てくる.

1952. 山本義丸. 篠ヶ峰のキベリハムシ. Natura (8):62.
氷上郡篠ヶ峰のキベリハムシ.

1953. 岩田久二雄・奥谷禎一・永富昭・中根猛彦. 氷の山の昆虫. 兵庫生物 2(3):121-125.

甲虫類については中根猛彦博士により9種の解説, ならびに96種の目録が出ている. ハムシ科は16種で, ムネアカサルハムシ, ルリパネナガハムシなどが見られる.

1953. 山本義丸. 兵庫県丹波地方の葉虫相. 兵庫生物 2(3):131-138.

133種が記録されている. 同定は中條道夫博士によるものが多い.

1954. Chûjô, M. Chrysomelid-Beetles of Shikoku, Japan (III). Trans. Shikoku Ent. Soc. 4(4):51-62.

四国のハムシ相を述べたもので新種記載を含んでいるが, 次の種の神戸産の記録がある.

Lochmaea (*Tricholochamaea*) *semifulva* (Jacoby) = *Pyrrhalta* アカタデハムシ Mt. Maya-san, 1ex., 15. V. 1949, S. Iwao leg.

1954. 山本義丸. キベリハムシの新産地と食草. 新昆虫 7(1):44.

氷上郡下の記録と宍粟郡の産地を記録.

1954. 奥谷禎一. カタビロハムシの食草. 新昆虫 7(7):43. 篠山での記録.

1954. 山本義丸. 氷の山の昆虫. *Natura* (11):7-9.

甲虫48種が記録されている. ハムシ科は2種のみである.

1954. 谷口行弘. 石戸に於けるキベリハムシ. *Natura* (11):14.

氷上郡石戸(奥石戸)で8月21日に7exs., 8月24日に2exs. を採集した記録.

1955. 高木吉雄. 兵庫県のキベリハムシ. 新昆虫 8(12):43.

川西市一の鳥居産についての観察.

1955. 近畿甲虫同好会編. 原色日本昆虫図鑑, 甲虫編. 増補改訂版. 274p. 68col. pl. (保育社, 大阪).

兵庫県産ハムシ9種が図説されている(産地・採集日付). キイロネグイハムシ, ムネアカサルハムシ, キベリハムシ, トゲアシクビロソハムシ, チビルクビロソハムシ, キアシルリクビロソハムシなどが含まれている.

1955. 大野正男. ヨモギカメノコハムシについて. 昆虫界 13(124):79-83.

ヨモギカメノコハムシの生態論文であるが, 産地として六甲山〔兵庫〕(1ex., 30. V. 1937, K. Taniguchi leg.) というのがある.

1956. 中條道夫. 図説 食葉はむし類. 292p. 単行本(林野庁, 東京).

害虫を主体とした日本の代表的なハムシの図説である. 分布の中で兵庫県産も示されている. 氷上郡産は山本義丸氏提供のもの, 神戸市を中心としたものは筆者が提供. 兵庫県産として記録収録されているハムシは14種である.

1956. Chûjô, M. Contribution to the fauna of Chrysomelidae (Coleoptera) in Japan (1). Mem. Fac. Lib. Arts & Ed. Kagawa Univ., Part. II:No. 31:1-20.

p. 11-12. *Hamushia eburata* (Harold) ヨツキボシハムシ Kaibara 1♀, 1. VI. 1951の記録あり.

1956. 高橋寿郎. きれいな甲虫. 兵庫県生物誌. pp. 58-61 (兵庫県生物学会編. 神戸新聞社, 神戸).

兵庫県産ハムシ2種(キベリハムシ, カタビロハムシ)についての解説.

1957. Chûjô, M. Chrysomelid-Beetles from Shikoku, Japan (IV). Trans. Shikoku Ent. Soc. 5(4):49-52.

四国産ハムシ相の第4報であるが, この中でp. 49-51に原記載以後初めての記録として, *Dioryctus lewisi* Baly (現在は*Adiseus*属タマツツハムシ)の記載を行った. そのなかに筆者提供の神戸産の記録が含まれている.

1♀, Karasuhara, Kobe-shi, 6. VII. 1941, T. Takahashi leg.

1♂, Karasuhara, Kobe-shi, 11. VII. 1939, T. Takahashi leg.

1957. 大槻孝司. 氷の山採集記. *Natura* (14):38-41.

1957. 大槻孝司. 氷の山妙見山の昆虫. *Natura* (14):41-45. 採集記と採集品目録である. ハムシ科は4種が含まれている.

1958. 高橋寿郎. セスジクビロソハムシ氷の山に産す. 昆虫学評論 9(1):14.

1958. 山本義丸. 兵庫県氷上郡昆虫目録. 氷上の自然第3集. *Natura* 特別号. A5, 134p. (ref. p. 72-102).

氷上郡で調査・採集された昆虫類約3000種を目録の形式でまとめたもので, 甲虫類は71科833種が記録された. ハムシ科は150種記録されているが, 原則として学名と

和名で若干の種について産地の記入もある。キベリハムシについては、写真もつけてやや詳しく説明されている。

1958. 高橋寿郎. キベリハムシについて. 新昆虫 11(7):12-13.

主として神戸背山ならびに県下の分布についての解説。

1958. 氷の山調査団. 氷ノ山の昆虫及び植物. *Natura* (15):17-19.

ハムシ科17種の記録あり。

1958. Fujita, E. Life History of *Cryptocephalus signaticeps* Baly (Coleoptera, Chrysomelidae). *Sci. Rept. Hyogo Univ. Agr. (Nat. Sci.)* 2:17-22 (In Japanese with the English summary).

クロボシツツハムシの生活史で、兵庫県下産の材料を使用。

1959. 堀田 久. 淡路島産甲虫目録(2). 兵庫生物 3(5):376-378.

28科87種が記録されている。ハムシ科は10種が収録されている。

1959. 高橋 匡. 氷の山の甲虫. *Natura* (16):28-42.

44科179種の目録で、ハムシ科44種が収録されている。

1959. 高橋 匡. ヨモギハムシの産卵期. *Natura* (16):66. 氷上郡での観察記録。

1960. Chûjô, M. & Kimoto, S. Description of three new genera and a new species of Chrysomelid-Beetles from Japan with some notes on the Japanese species. *Nipponius* 1(4):1-10.

兵庫県相原産アワクビソハムシ *Hapsidolema dilutipes* (Fairmaire) = *Oulema* の記録がある (p. 3)。

1960. Madar, J. Zur. frage der zoogeographischen verbreitung der *Chaetocnema concinnicollis* Baly mit beschreibung zwier neuen Halticinen-Formen (Halticinae, Col.). *Mushi* 33(7):47-49.

兵庫県柏原産で1新亜種の記載を行っている。すなわち, *Chaetocnema concinnicollis kaibarensis* Madar, Kaibara. 現在では亜種の取り扱いをされておらず, *C. concinnicollis* Baly ヒメドウガネトビハムシとされている。

1960. 田中光照. 特産甲虫キベリハムシ. 兵庫の自然:

38 (のじぎく文庫)。

1960. 村上雅昭. 扇ノ山の甲虫. *Natura* (17):33-35.

1959年7月26~30日の扇ノ山の甲虫採集リストである(和名のみ)。ハムシは10種記録されている。

1960. 小寺丈夫. ヨモギハムシの飼育. *Natura* (17):56-59. 氷上郡における飼育記録。

1960. 高橋 匡. 氷上郡昆虫目録追加(第1報). *Natura* (17):100-105.

19科60種が記録されており、ハムシ科12種が記録されている。

1961. 鳥居正史. 六甲山系甲虫目録(1). *Shida* (県立長田高校生物部会誌) (9):4-6.

ハムシ科37種が記録されている。

1961. 足立 勲. 扇ノ山採集記. *Natura* (18):19-35.

和名だけであるが、終わりに採集リストが示されている。ハムシ科は8種記録されている。

1961. 高橋 匡. 氷上郡昆虫目録追加(第2報). *Natura* (18):66-74.

21科95種を記録。うちハムシ科2種の記録を含む。

1961. 高倉康男. 九州産ハムシ類の生態的知見. 北九州の昆虫 8(1):1-14, pl. 1, 2.

篠山産 *Lilioceris merdigera* (Linné) ユリクビナガハムシ(岩田久二雄博士採集)の標本を所有している旨の記録あり。

1962. Chûjô, M. Description of a new Chrysomelid-Beetles from Japan. *Nipponius* 1(18):1-3.

Lilioceris (s. str.) *balyi* Chûjô ベーリークビナガハムシ Hiogo, G. Lewis leg. の新種記載。

1962. 藤田悦久. 六甲山に分布するハムシの亜種について. 兵庫生物 4(3/4):143-145.

1962. 長田高校生物研究会甲虫班. 六甲山系甲虫類目録(II). *Shida* (10):11-20.

36科197種と追加4科8種を記録。データはあるが、和名だけである。追加種にハムシ科3種あり。

1962. 山本義丸・高橋 匡. 氷上郡昆虫目録追補(第1

集). A5. 14p. (単行本).

31科184種が記録されている. そのうちハムシ科は15種を記録.

1963. 辻 啓介. 但馬扇ノ山甲虫目録(1). 兵庫農大生物研究部誌(3):24-47.

48科294種の記録と同時に, 中根博士が同地で採集された13科28種も記録している. ハムシ科は26種と追加種4種が記録されている.

1963. 高橋 匡. 出石郡昆虫目録(第1報). VITA(兵庫県立出石高等学校科学部生物班会誌)(1):1-34.
51科401種が記録されており, そのうちハムシ科は50種を記録.

1964~1966. Kimoto, S. The Chrysomelidae of Japan and the Ryuku Islands, I~XI. Jour. Fac. Agr. Kyushu Univ. XIII(1)~XIII(4).

日本産ハムシ類の分類学的論文である. このなかで兵庫県産ハムシの記録が17種ある.

1964. Kimoto, S. & Hiura, I. A List of the Chrysomelid-specimens preserved in the Osaka Museum of Natural History. I. (Insecta: Coleoptera). Bull. Osaka. Mus. Nat. Hist. (17):5-18.

表題のごとく, 大阪市立自然史博物館に所蔵されているハムシ類標本の目録であるが, 兵庫県産の標本14種も記録されている.

1965. Chûjô, M. & Ohno, M. A Revision of Luperomorpha-species occurring in Japan and the Loo-Choo Islands (Coleoptera, Chrysomelidae, Alticinae). Mem. Fac. Lib. Art. Edu. Kagawa Univ., Part. II, No. 131:1-16.

日本産Luperomorpha属トビハムシに関する研究である. 兵庫県からの記録が次のごとくある.

p. 4. *Luperomorpha tenebrosa* (Jacoby) キアシホソトビハムシMt. Rokko.

p. 9-11. *L. tokejii* Chujo et Ohno 新種トケジホソトビハムシ 1♂1♀, Mt. Kongôdoji, Kobe. 24. V. 1956, T. Takahashi et T. Muranishi leg.

p. 14-16. *L. funesta* (Baly) クロホソトビハムシ1ex., Kaibara, 31. VII. 1952, M. Yamamoto leg.

1965. Kimoto, S. & Hiura, I. A List of the Chrysomelid-specimens preserved in the Osaka Museum of Natural History.

II. (Insecta: Coleoptera). Bull. Osaka. Mus. Nat. Hist. (18):31-48.

大阪市立自然史博物館に所蔵されているハムシ類目録の第二報である. 兵庫県産のものとして23種が記録されている.

1965. 高橋 匡. 出石郡昆虫目録(第2報). VITA(2):1-16.

甲虫類は19科51種が記録されており, ハムシ科は16種記録されている.

1965. 藤田悦久. ヤナギルリハムシに関する二・三の生態的知見. 兵庫生物 5(1):30-32.

兵庫県武庫川流域, 六甲紅葉谷産による観察記録.

1965. 西脇自然同好会昆虫班. 西脇・多可・八千代昆虫目録. 西脇自然同好会会報 1(1):50-58.

17科150種記録されている. データはついているが和名だけである. せっかくのまとめであるからもう少し丁寧に発表して頂けたらと思う. ハムシ科は20種記録されている.

1966. 田中光照. 特産甲虫キベリハムシ. 兵庫の自然p. 70-71. 新書版(六月社, 大阪).

1967. Ohno, M. A Revision of Argopus-species occurring in Japan. Jour. Toyo Univ. Gen. Edu. (7):35-51.

日本産Argopus属ハムシの再検討であるが, 次の兵庫県産の記録が含まれる.

Argopus chypeatus Baly センニンソウマルノミハムシMt. Rokko, Mino.

A. balyi Harold ボタンヅルマルノミハムシMt. Mino.

1967. 大野正男. 兵庫県三濃山のハムシ類. 兵庫生物 5(3/4):213-315.

三濃山から85種のハムシを記録.

1967. 高橋寿郎. 兵庫県のハムシ(1). 兵庫生物 5(3/4):260-266.

兵庫県産ハムシ相研究史の第1回として7種を記録.

1967. 大野正男. 日本産ハムシ科研究の手引き(1). 昆虫と自然 2(3):14-18.

日本産クビナガハムシ亜科の総説である. 淡路島が初めての記録としてキバラクビボソハムシ, キオビクビボソハムシ, カワリクビボソハムシが紹介されている.

1967. 大野正男. 日本産ハムシ科研究の手引き (3). 昆虫と自然 2(5):25-28.

日本産クビナガハムシ亜科総説の3回目である。ユリクビナガハムシ、ベーククビナガハムシの兵庫県産についての記録がある。

1968. Ohno, M. A Revision of Longitarsus-species occurring in Japan (Coleoptera, Chrysomelidae, Alticinae). Jour. Toyo Univ. Nat. Sci. (9):1-56.

日本産トビハムシ*Longitarsus*属に関する総説であるが、そのなかに次のような兵庫県産の記録が含まれている。

Longitarsus quadraticollis Jacoby カクムネアシナガトビハムシ Yabu, Ikunoshirakuchi, Mt. Mino.

L. kimotoi Ohno ルリアシナガトビハムシ Mt. Mino.

L. baraginicollis Ohno ムラサキアシナガトビハムシ Aiya-Awaji, Kaibara.

L. lewisii (Baly) オオバコアシナガトビハムシ Yabu, Ikunoshirakuchi, Mt. Minoo.

L. amicus (Baly) ヨモギアシナガトビハムシ Mt. Mino.

L. komiyai Ohno コミヤアシナガトビハムシ Kaibara.

L. nipponensis Csiki ハツカアシナガトビハムシ Mt. Mino, Aiya-Awaji.

1968. 高橋寿郎. 兵庫県のハムシ (Ⅱ). 兵庫生物 5(5):405-414.

クビナガハムシ亜科17種, ナガツツハムシ亜科5種, ツツハムシ亜科15種, ツヤハムシ亜科3種, コブハムシ亜科2種, サルハムシ亜科20種を記録。

1969. 大野正男. 淡路島のハムシ相. 兵庫生物 6(1):11-14.

71種が記録されている。

1969. 高橋寿郎. 兵庫県のハムシ (Ⅲ). 兵庫生物 6(1):37-38.

ハムシ亜科15種, ホソハムシ亜科1種を記録。

1969. 高橋寿郎. 神戸市烏原貯水池付近の甲虫雑記 (2). MDK NEWS 21(1):2-7.

キベリハムシの分布について解説。

1970. 高橋寿郎. コケの中に越冬するイチモンジハムシ. 昆虫と自然 5(3):13.

三田市千刈池東岸大岩山での記録。

1970. 高橋寿郎. 兵庫県のハムシ (Ⅳ). 兵庫生物 6(2):143-147.

ヒゲナガハムシ亜科44種が記録されている。

1970. 大野正男. 淡路島のハムシ相 (2). 兵庫生物 6(2):150-151.

淡路島のハムシ相の特色を解説。

1970. 仲田元亮. 能勢の昆虫 (甲虫). B5, 107p. (著者自刊).

表題のごとく能勢の昆虫についての報文であるが、兵庫県下に属する地域での記録が多くあり、また採集案内もついている。ハムシ科は61種が記録されている。

1971. 木元新作・日浦 勇. 大阪市立自然科学博物館に所蔵されるハムシ類標本 (第三報). 大阪市立自然科学博物館研究報告 (25):1-26.

本報文は表題のごとく大阪市立自然科学博物館に所蔵されるハムシ類の目録であるが、その中に4新種の記載があり兵庫県産の標本も多く記録されている (43種)。この新種記載のうち1種は兵庫県、和歌山県からの記録であり、兵庫県初記録種が3種ある。すなわち、

p. 5 & 24. *Zipanginia miyatakei* Kimoto ミヤタケグミトビハムシ 養父郡関宮町福定〜氷ノ山で宮武頼夫氏が採集した3頭の標本 (9. VII. 1967) を holotype, paratypes として記載されたもの。

p. 10. *Cryptocephalus kiyosatonus* Kimoto モモグロチビツツハムシ 養父郡関宮町福定〜氷ノ山 (2exs., 9. VII. 1967, Miyatake leg.) 兵庫県初記録。

p. 17. *Monolepta tsushimanum* Kimoto ツシマアシナガハムシ 養父郡関宮町大久保 (3exs., 11. VII. 1967, Miyatake leg.) 本州ならびに兵庫県初記録とされたが、次の種のシノニムである。 *Monolepta nojiriensis* Nakane ヒメウスイロアシナガハムシ。

p. 20. *Lythraria salticariae* (Payhull) = *L. komiyanae* (Ohno) ヒメカクムネトビハムシ 兵庫県初記録, 川西市一の鳥居寒天干物 1ex., 1. IX. 1961, Hiura leg.

1971. 高橋寿郎. 1971年ハムシ類採集記録 (神戸市烏原貯水池付近の甲虫雑記, 4). MDK NEWS 23(2):2-4. 主としてキベリハムシを中心に記録。

1972. 高橋寿郎. 兵庫県のハムシ (Ⅴ). 兵庫生物 6(3):238-243.

トビハムシ亜科83種を記録。

1972. 辻 啓介・岸田剛二. 但馬扇ノ山の甲虫目録. 扇ノ山周辺の動物 (I), p. 20-48. 兵庫県自然保護協会調査資料, 第1集.

65科662種, 追加として18科33種の記録. ハムシ科は59種が記録されている.

1972. 高橋寿郎. 兵庫県産ハムシ類雑記 (兵庫県産甲虫相資料37). MDK NEWS 24(1):49-51.

兵庫県産ハムシに4種を追加するとともに, 6種のハムシについての産出状況の説明.

1972. 辻 啓介. 氷の山の甲虫数種について. きべりはむし 1(1/2):26.

6種について解説. 兵庫県初記録としてミドリカメノコハムシ, セスジカメノコハムシを掲載.

1973. 久松定成ほか. 本四架橋ルートの鳥々の昆虫相. 本州四国連絡架橋に伴う周辺地域の自然環境保全のための調査報告書. 学術調査編p. 80-97. 財団法人国立公園協会刊.

表題のごとく瀬戸内海の13島の調査記録で, 石原保博士のもとに愛媛大学関係者が調査したものである. 甲虫は久松定成氏が中心となり, 淡路島産の甲虫44科166種が記録されている. そのうちハムシは酒井雅博氏担当で, 19種が記録されている.

1974. 神戸女学院. 岡田山の自然. 神戸女学院百周年記念「岡田山の自然」出版委員会刊. B5. 163p.

神戸女学院のある西宮市岡田山に産する昆虫目録 (うち甲虫類6科12種) で, 普通種ばかりの記録である. ハムシ科はウリハムシ1種の記録がある.

1974. 奥谷禎一. 兵庫県の昆虫類の現状. 兵庫県の自然の現状Ⅱ, p. 50-60. 67. 兵庫県自然保護協会刊B5. 78p.

甲虫類24種についての概説. ホタルについては特に詳しく述べられている. ハムシではキベリハムシ, ワモンモモボトハムシ, ヒシバクビボソハムシの解説がある.

1974. 高橋寿郎. 甲虫 (続). 山陽ニュース (295):10-15.

クワガタムシ, コガネムシ, テントウムシ, カミキリムシ, ハムシについて解説. ハムシではキベリハムシを中心に若干の解説がある.

1974. 大野正男・鈴木富士子. キイロナガツツハムシの分布. 昆虫と自然 9(12):20.

兵庫県における分布についての言及もある.

1974. 奥谷禎一. 中国山脈東端の昆虫相. 東中国山地自然環境調査報告. pp. 173-233. 国立公園三県協議会刊.

扇ノ山, 氷ノ山, 三室山 (音水, 赤西) を中心とした地域の甲虫類を兵庫県昆虫同好会のメンバーの協力を得て筆者がまとめた. 79科1409種記録. ハムシは173種を記録.

1974. 久松定成ほか. 本四架橋ルートの鳥々の昆虫相. 本州四国連絡架橋に伴う周辺地域の自然環境保全のための調査報告書 (その2). pp. 75-96. 財団法人国立公園協会刊.

1973年度の調査結果を前報告に補足する形でまとめた. 淡路島産の甲虫は29科87種がまとめられている. 担当は前報文のとおり. ハムシ科は19種が記録されている.

連絡誌の情報を募集

連絡誌“混蟲ずかん”は年に数回発行されています.

“混蟲ずかん”では, 誌面の充実を図るため, 会員の皆さんから情報を募集しています.

メモ書き程度の通信でOKです. 内容は, 身近な虫の情報

(モンシロチョウの初見日, セミの初鳴き日・終鳴き日など),

採集情報, 近況, 意見, 新刊紹介, 新聞記事の切り抜きなど, 何でも結構です.

随時, 受け付けています. とくに, 但馬地方の昆虫に関する情報を求めています.

送付先・連絡先は,

事務局 (〒669-68 美方郡温泉町井土932-10 黒井和之) まで.